

# JIS

## ユニットロードシステム通則

JIS Z 0650 : 2020

令和 2 年 12 月 21 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 船舶・物流技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	椎 名 武 夫	千葉大学
(委員)	井 上 謙	一般社団法人日本産業機械工業会
	梅 崎 重 夫	独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合 研究所
	大 森 彰	一般社団法人日本船主協会
	佐 伯 誠 治	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	酒 田 義 矢	一般社団法人日本パレット協会 (ユービーアール株 式会社)
	園 山 洋 一	公益社団法人日本包装技術協会
	高 尾 陽 介	一般財団法人日本海事協会
	堀 内 智	一般社団法人日本産業車両協会
	池 主 得 巨子	ライオン株式会社
	橋 爪 茂 久	公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 7.1.1 改正：令和 2.12.21

官 報 掲 載 日：令和 2.12.21

原案作成協力者：一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：船舶・物流技術専門委員会 (委員長 椎名 武夫)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成協力者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 E-mail:jisc@meti.go.jp 又は FAX 03-3580-8625) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	2
3 用語及び定義	4
4 パレタイズド貨物	4
4.1 平面寸法	4
4.2 最大平面寸法	5
4.3 最大総質量	5
4.4 全高	5
4.5 安定性	5
4.6 荷くずれ防止	6
5 パレット	7
6 プールパレット	8
7 輸送包装	9
7.1 寸法	9
7.2 種類	10
8 荷役機器	13
8.1 フォークリフトトラック	13
8.2 無人搬送車	15
8.3 パレットトラック	15
8.4 ハンドトラック	16
8.5 コンベヤ	16
8.6 パレタイザ及びデパレタイザ	16
9 保管設備	17
9.1 産業用ラック	17
9.2 立体自動倉庫システム	18
10 貨物コンテナ	18
11 輸送機関	19
11.1 トラック及びトレーラ	19
11.2 航空機	22
11.3 鉄道及び船舶	23
附属書 A (参考) パレタイズド貨物の最大積載数及び床面利用率	24
附属書 B (参考) パレタイズド貨物の最大平面寸法の定め方の例	33
附属書 C (参考) パレタイズド貨物の全高の考え方の例	34
解 説	35

## まえがき

この規格は、産業標準化法に基づき、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS Z 0650:1995** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

**注記** 工業標準化法に基づき行われた日本工業標準調査会の審議等の手続は、不正競争防止法等の一部を改正する法律附則第9条により、日本産業標準調査会の審議等の手続を経たものとみなされる。

# ユニットロードシステム通則

## General rules for unit-load system

### 序文

物流とは、物資を供給者から需要者へ、時間的及び空間的に移動させる活動であり、経済活動及び社会生活を支える重要な社会基盤としての役割を担っている。ユニットロードは物流を効率化するために発展してきたが、その効果を最大限に発揮するためには、荷物を可能な限り、共通のモジュールからなるシステムとして体系化し、かつ、このシステムに適合した機械及び器具によって取り扱われる必要がある。

この規格は、1995年に、パレチゼーションによる一貫輸送をはじめとする、体系化されたユニットロードを構築することによって、物流の合理化を図るための指針として制定され、今日に至っているが、ヨーロッパの現状及びアジアとの輸出入の増大を鑑み、1 100 mm×1 100 mm パレットに加え、新たに 1 200 mm×1 000 mm (長辺×短辺) パレットにも対応するべく見直しを行った。

JIS Z 0665 では“サプライチェーンの階層”が示されているが、物流ではこれらの全階層にわたる整合性を図ることが重要である。この規格では、それぞれの階層のユニットロードについて、その上位階層と下位階層との関係を考慮して標準を定めることが望ましいとの考え方に基づき、ユニットロードを規制する要因と荷役及び運搬・輸送のための機械及び器具を整理したうえで、パレットサイズレベルのユニットロードを対象として標準を作成した。

このような考え方による標準の制定によって、パレタイズ化はもちろん、パレタイズド貨物の解体後の作業性を含む、サプライチェーン全体を通してのマテリアルフローが最適化され、空間効率・時間効率を改善させるための、ユニットロードの新たな指針となることが期待される。

なお、対応国際規格は現時点では制定されていない。

### 1 適用範囲

この規格は、1 100 mm×1 100 mm 及び 1 200 mm×1 000 mm のパレット寸法を基本とするパレチゼーションによる一貫輸送をはじめ、体系化されたユニットロードシステム (図 1 参照) を構築し、物流の合理化を図るための指針となる事項について規定するとともに、ユニットロードシステムの中心となるパレタイズド貨物の運搬、保管などに関係する機械及び器具について規定する。

なお、平面寸法については、全て長辺×短辺と表記する。